

科目名	病態・臨床検査学			ナンバリング	PHA343	授業形態	講義
対象学年	2	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	野原幸男	担当教員	小野栄夫、富岡節子				

授業の概要	1 疾患成立の根本原理と各種病態における形態学的変化を理解し、病理学総論の基本的事項を修得することを目的とする。 また基本的な術語については英語の術語も身につけることを目的とする。 2 主要症候の病態生理の概略を理解し、各種病態における臨床検査の理論と方法、適応と解釈(臨床的意義)を修得することを目的とする。 臨床検査の項目では、検査方法とデータの見方、尿・糞便・血液生化学検査と関連疾患について解説する。 病態検査の項目では、代謝内分泌、呼吸器、循環器、肝臓・胆道・膵臓に関する病態検査について解説する。						
到達目標	1 各種疾患の原因と身体に生じている変化について概説できる。 2 基本的な英語の術語の意味を概説できる。 3 臨床検査の意義について説明できる。 4 各種臨床検査の検査方法の目的と原理を概説できる。 5 各種病態の異常所見と検査方法について概説できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	宿題(レポート)ならびに講義で使用するスライド資料のPDFファイルと、予習用動画はmanab@IMUからダウンロードできる。 PDFファイル化したレポートの提出はmanab@IMUを利用して行う。 特に生化学・機能形態学・薬品分析学と関連しているので、講義中に出てくる関連項目についてそれぞれの教科書で内容を再確認し、つながりを意識して学ぶこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
		1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。					
	○	2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
		3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
	○	5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①病理に関するキーワードについて、その意味を説明できる。 ②臨床検査に関するキーワードについて、その意味を説明できる。 ③病態に関するキーワードについて、その意味を説明できる。 ④基本的な英語の術語の意味を説明できる。	①キーワード間の繋がりを理解した上で、各種疾患の原因と身体に生じている変化について説明できる。 ②キーワード間の繋がりを理解した上で、各種病態の臨床検査の理論と方法について説明できる。 ③キーワード間の繋がりを理解した上で、各種病態の臨床検査の適応と解釈について説明できる。 ④検査方法とデータの見方、尿・糞便・血液生化学検査と関連疾患について説明できる。 ⑤代謝内分泌、呼吸器、循環器、肝臓・胆道・膵臓に関する病態検査について説明できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					80%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○					20%
授業態度・授業への参加							
出席			○	○			加点はせず、欠席は減点することがある。

課題、評価のフィードバック	各回の課題の解答と解説を配布し、各自で振り返りを行う。
---------------	-----------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	病理学概論、細胞障害と細胞増殖、組織・細胞の修復と再生(小野栄夫)	病理学概論、細胞障害と細胞増殖、組織・細胞の修復と再生の概要について解説する	SBO:該当項目なし
	第2回	循環障害の病理(小野栄夫)	循環障害の病理の概要について解説する	SBO:該当項目なし
	第3回	炎症、感染症、免疫機構の異常の病理(小野栄夫)	炎症、感染症、免疫機構の異常の病理の概要について解説する	SBO:該当項目なし
	第4回	腫瘍病理学(小野栄夫)	腫瘍の定義(良性腫瘍と悪性腫瘍の違い)と悪性腫瘍について解説する	SBO:E2-(7)-⑦-1,2
	第5回	先天異常、代謝異常、老化の病理(小野栄夫)	先天異常、代謝異常、老化の病理の概要について解説する	SBO:該当項目なし
	第6回	中間試験(病理学総論 第1～5回の範囲)(野原幸男、富岡節子)		
	第7回	臨床検査概論(野原幸男)	臨床検査の目的と原理について概説する。	SBO:該当項目なし
	第8回	検査方法とデータの見方(野原幸男)	臨床分析で用いられる分析法(免疫化学的測定法、酵素を用いた分析法、ドライケミストリー、画像診断技術)、前処理法、精度管理と標準物質について解説する	SBO:C2-(6)-②-1～4、C2-(6)-①-1,2
	第9回	尿・糞便検査と関連疾患(野原幸男)	尿検査および糞便検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見について解説する	SBO:E1-(2)-②-1
	第10回	血液生化学検査と関連疾患(野原幸男)	血液生化学検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見について解説する	SBO:E1-(2)-②-2-4
	第11回	脳・中枢神経系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患の病態検査(富岡節子)	糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症・痛風の病態検査法の概要について解説する	SBO:E2-(5)-①-1-3
	第12回	血液・免疫疾患、心臓・血管系疾患の病態検査(富岡節子)	血液・免疫疾患、心臓・血管系疾患の病態検査法の概要について解説する	SBO:E2-(3)-①-1-4 E2-(5)-②-1-3
	第13回	腎・泌尿器疾患、呼吸器疾患の病態検査(富岡節子)	腎・泌尿器疾患、呼吸器疾患の病態検査法の概要について解説する	SBO:E2-(4)-①-1-2
	第14回	消化器疾患、肝臓・胆道・膵臓の病態検査(富岡節子)	消化器疾患、肝臓・胆道・膵臓の病態検査法の概要について解説する	SBO:E2-(4)-②-1-5
	第15回			
	試験	期末試験(臨床検査学 第7～10回、病態検査学 第11～14回の範囲)		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。		
授業外学習の指示		配布資料を中心に講義の内容を復習し、不明な点は必ず教科書で確認するか教員に質問すること。 manab@IMUIに指示された予習・復習を行うこと。提示された課題を解くこと。 (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	1 シンプル病理学 改訂第7版、笹野公伸、岡田保典、安井弥編集 ISBN978-4-524-26154-3 南江堂、3,132円 2 薬学生のための病態検査学 改訂第2版、三浦雅一編集 ISBN978-4-524-40311-0 南江堂、4,320円
参考書	1 標準病理学 第5版、坂本穆彦監修、北川昌伸、仁木利郎編集 ISBN978-4-260-02026-8 医学書院、11,880円 2 薬学生のための臨床化学 改訂第4版、藤田芳一、眞野成康編集 ISBN978-4-524-40319-6 南江堂、5,184円
参考URLなど	なし
その他	(薬剤師として求められる基本資質)⑤ 生体および環境に対する医薬品・化学物質等の影響を理解するために必要な科学に関する基本的知識・技能・態度を有する。 大学独自:30%